



北アフリカ地域ニュース

エジプト：憲法改正案に関する国民投票

(3月21日付現地各紙)

1. 3月20日、ムバーラク大統領は、19日に人民議会在承認した憲法改正案に対する国民投票に関する大統領令を発出した。同大統領令によれば、国民投票は3月26日の午前8時に開始され、午後7時に終了する。
2. 今回の国民投票では、有権者数は約3,500万人であり、裁判官が監視する334の主要な投票所、法律で定められた機関が監視する約3万の投票所支部で投票が行われる。
3. 与党の国民民主党(NDP)筋によれば、今回、国民投票日が当初の予定より早められた理由は、イスラム教の祝日である預言者聖誕祭(4月1日)及びキリスト教の祝日であるイースター(4月8日)が近づいていること、改正された憲法の下で新たな選挙法を適用してシューラ評議会選挙を実施することにある。
4. NDPは、大統領令が発出されたことを受けて直ちに党本部にシェリーフ幹事長をヘッドとするオペレーション・ルームを立ち上げ、34条文に及ぶ憲法改正案に対する国民の支持を得る為の活動を開始した。
5. 治安当局は、国民投票当日における非合法勢力の投票行動妨害の動きに対する警告を行い、こうした動きには法律に基づいて対処すると述べた。
6. 国民投票の結果は、3月27日に国民投票管理委員会の委員長である司法大臣によって発表される予定。
7. マコーマック米國務省報道官は、エジプトはより大きな政治及び経済改革に向かって進んでおり、今回の憲法改正に関する国民投票は、エジプトにおける政治改革の一部であり、エジプト国民に表現の自由を認めるものであると述べた。